

第63号 指導室たより 令和2年10月9日

「夏行事」

保育士 坂本 春菜

七月十五日（水）十六日（木）、各病棟居室にて夏行事「きんさい☆よさこいソーラン祭り」が行われました。今回は「夏の風物詩を体験し季節を感じる」ことを目的に、派手に！賑やかに！夏の祭りを計画しました。

よさこいおなじみの華やかなメイクやはっぴ等の衣装を身に着けた職員が各居室に訪問し、ソーラン節を踊ったり鳴子や太鼓の音を聴いたりして楽しみました。みなさん、訪問した職員を見ると、いつもと違う雰囲気や驚きの表情やワクワクした表情が見られました。目の前で踊る職員や「どっこいしょ！」「ソーランソーラン！」と繰り返される掛け声にお祭りの迫力や盛り上がりを感じて頂くことができました。また、鳴子の音や手持ち太鼓に興味を持たれる方も多く、「鳴らしてみたい」と手を伸ばされる姿や職員と一緒に身体を動かすことを楽しめる姿も見られました。ソーラン節のにぎやかな音楽に手拍子を取りながら楽しめる方、職員のメイクに興味を持たれる方など、みなさん思い思いに楽しめる姿が印象的でした。

今回の行事では、二日間の日程で全居室を対象に訪問しました。行事での全居室訪問は久しぶりでしたが、みなさんによりじっくり参加していただくことができました。

最後に、ソーラン節のにぎやかな音楽やみなさんの掛け声で暑い夏をもっとアツく！楽しむことができた夏行事となりました。

ありがとうございました。



「還暦を祝う会」

保育士 鈴木 聖華

九月十七日（木）に療育訓練室にて「還暦を祝う会」が行われました。今年は、一若葉病棟 小舛孝子さん、二若葉病棟 中岡まり子さん、三若葉病棟 小西日出子さん、三あゆみ病棟 山田菜穂子さんの四名が還暦を迎えられました。

「これまでとこれからを皆さんと共に」をテーマに、会場には還暦者のみなさんの昔懐

かしい写真を飾り、思い出話をしながら会がスタートしました。今回は、還暦者みなさんの姿を見ていただけるよう一人ひとりにスポットが当たる時間を作りました。小舛孝子さんは、二年前からコツコツと練習を積まれていた歌をうたい、中岡まり子さんは、昔の写真を再現するタイムスリップ写真を披露されました。小西日出子さんは、手作りの「ひでこさんクイズ」をみなさんと行い、ご自身の好きなものについて紹介されました。山田菜穂子さんは、ご自身で作成されたご主人へのメッセージ映像を映し、音楽と共に思いを届けられました。還暦者のみなさんの気持ちが込められたステージは、笑いあり涙ありと思いでに残るとても特別な時間となりました。

他にも、スペシャルゲストとしてアンデルセン店長に扮した院長先生がケーキを持ってお祝いにつけてくださり、緊張で表情が硬くなっていた還暦者の方も喜びから笑顔になっておられました。また、にしーくんも登場し、ご家族や主治医をはじめとする関係職種の方からのメッセージ付きアルバムをプレゼントされました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で人数を縮小しての開催となりました。会場には若葉・あゆみ病棟の利用者の方や職員のみなさんからの笑顔の写真を集めた「おめでとう」の看板を飾り、還暦者のみなさんに祝福の気持ちを送りました。

このたびは、みなさんの節目の日をご一緒することができ大変嬉しかったです。これからもみなさんと共に笑顔で過ごせるようお手伝いをしていきたいと思えます。このたびは誠におめでとうございます。



「8月特別療育」

児童指導員 三浦 倫子

8月25日（火）に8月特別療育を行いました。

テーマは「特別企画 広島西版青春18切符 ゆったりのんびり巡る旅」とし、列車に乗って夏旅の時間を過ごしていただきました。

内容は、広島駅から呉線を経由し岡山駅まで目指すというものです。まずは、「瀬戸内マリビュー」という客船のキャビンをイメージした観光列車に乗車し、三原駅を目指します。途中、車窓からの風を感じながら、呉駅下車。大和ミュージアムや会場自衛隊呉資料館を観光しました。その後は、三原駅で乗り換え、尾道駅途中下車観光、「ラ・マルシマナ

み」という自転車が積み込めるスペースがある列車に乗り換え、倉敷駅途中下車し倉敷観光しながら岡山駅に到着しました。目的地の岡山では、笠岡港まつり花火大会を楽しんだあと、湯原温泉で旅の疲れを癒しました。

駅のホームの音楽を聴き、車窓からの風を感じ、車窓から香るイメージでアロマのユーカリやペパーミントの香りに癒され、観光地の写真を見て楽しむなど、普段とはちょっと違う時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

あなたとともに羽を伸ばしたい、太陽サンサン、山陽の夏旅、、、風、音、香り、、、いつもとは違うリラックスした時間を過ごしていただけていたら嬉しいです。



院内散歩「夏の花火大会」

主任保育士 岡島 明美

令和2年度の院外療育は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、院外に出かけることができないため、居室訪問や療育訓練室への散歩等に変更して実施しています。夏は「花火」がテーマです。療育訓練棟を「夏の花火大会」の会場にし、ブラックライトに浮かび上がる色とりどりの花火のトンネルや、大きなスクリーンで全国の花火大会を上映し、ダイナミックな花火の光や音を楽しみました。会場からは「わ～!!きれい」「たまや～☆彡」と感動の声が聞かれました。他にもプロジェクターを使用し、絵を描いたシートと一緒に素敵な記念撮影もできました。

次回は「秋」をテーマに計画しています。皆さんお楽しみに



麻雀

児童指導員 田山地 孝国

今年度より、あゆみ病棟 4 名の利用者が集まり、療育活動として『麻雀』を実施しております。本来であれば、同じ場所に皆が集まり、麻雀卓を囲んでできればと計画しておりましたが、コロナ禍により、現在は、インターネット上で皆が集まり麻雀を楽しまれています。コロナウイルスの状況が落ち着きましたら、皆で麻雀卓を囲んで賑やかにできればと思います



7月26日 社会活動団体によるオンライン講演会開催！

演題 「入院しながら働くマッキー」

※現在、特別支援学校 学校事務アシスタントとして勤務中

2 あゆみ病棟 藤島蒔史

今回の講演会で一番伝えたかったことがふたつあります。

一つ目は、仕事をしてお給料などの新しい経験することで、視野が広がることでやりたいことが増えるということ。二つ目は、学校事務アシスタントなどの障がい者雇用や誰でも動画投稿ができる YouTube などのインターネットがあるということは、社会は障がい者を受け入れ少しずつでも確実に障害の壁が低くなっている事でした。そのことを最初はたくさん人の前で発表をしようと思っていましたが、コロナの影響によりネットでの生中継を配信することになりました。人の前で話すわけではないので緊張はそんなにしませんでした。見ている人にきちんと伝わっているのかという不安がありました。しかし、聞いた人からのコメントで「勉強になりました」「これからも頑張ってください」などがあつたのでとても安心しました。それから、ネット生中継もとてもいい経験になりました。

今回講演会の依頼をいただいたアンダースのみなさま、そしてその支援サポートしていただいた医療関係の方々、本当にありがとうございました。

—お知らせ—

「新しい児童指導員の紹介です」

児童指導員（1 若葉病棟担当）

坂本 真布（さかもと まほ）

出身地：徳島県

ひとこと：8月1日から広島西医療センターでお世話になります。皆様と一緒に楽しい時間を過ごさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

「行事予定」

11月17日(水) 秋行事(若葉病棟訪問)

18日(木) (あゆみ病棟訪問)

19日(金) (あゆみ・若葉病棟訪問)

12月 9日(火) お楽しみ会(あゆみ病棟訪問)

10日(水) (あゆみ・若葉病棟訪問)

16日(水) (若葉病棟訪問)